

環境のひろば

216号

発行者 / 岡山県環境衛生協会
会長 笠原金剛

題字 / 岡山県知事 伊原木 隆太

ふるさとを
きれいに
しましょう

この広報誌は“ふるさとをきれいに
する運動”を推進するために
配布しております。

オリジナルマイバッグ最優秀デザイン



(最優秀デザイン：竹原 愛子さん)

支部だより

真庭
支部

レジ袋の有料化に向けて

岡山県環境衛生協会真庭支部

令和2年7月から実施予定であるレジ袋の有料化に向け、真庭支部ではマイバック運動の啓発強化活動として、真庭商工会と連携し、オリジナルマイバッグを作成しました。

真庭市・新庄村内においてデザインを募集したところ、未就学児から70代までの幅広い年齢層から、14作品の応募があり、関心の高さがうかがえ

ました。今後の啓発推進として、最優秀デザインの発表会を開催し、報道関係者の協力を得ながら、活動を行っていきます。また、商工会と連携し、イベント等でのマイバッグ配布を行っていきます。

令和2年7月から実施されるレジ袋有料化に向け、3Rの更なる啓発・推進・実行の重要性を再認識し、我々のライフスタイルについて、もう一度考え直すことが必要となっています。当協議会では、持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえ、「住み続けたいまち」「住んでみたいまち」と思える地域を目指し、今後とも活動してまいります。

支部だより

高梁
支部

レジ袋有料化に想うこと

高梁市環境衛生協議会

海洋ごみの問題が深刻化しており、世界規模での取り組みが迫られています。高梁市も例外ではありません。本市には岡山県三大河川の1つ、高梁川が南北に貫流しており、下流の市町や瀬戸内海へのごみ流出を防ぐ責任があります。毎年、当協議会主催で高梁川流域クリーン作戦を実施し、多くの市民参加のもと河川敷の清掃を行っているところです。

国内で流通しているレジ袋は、年間約20万トンといわれています。レジ袋は風に飛びやすく、河川に流れ込みやすいことから、プラスチック製品の排出そのものを減らす必要があります。

当市では、プラスチック製容器包装製品の資源収集を行っていますが、昨年度のリサイクル量は

約120トンとなっています。

レジ袋については、7月から有料化が義務づけられるところですが、市民に向けては、買い物にはバッグを持参するというマイバッグ運動を引き続き展開していきます。

津山
支部

マイバッグ運動

久米南町環境衛生委員会

お店で買い物をするとついつい貰ってしまうレジ袋。そのレジ袋のほとんどが、ごみとなり廃棄されています。また、不法投棄されたレジ袋などのプラスチック製のごみが海に流れ、海洋ごみとなるなど、様々な問題となっています。こういった背景を踏まえ、7月から、すべての小売店にレジ袋の有料化が義務づけられます。

当委員会では、このレジ袋の問題を考えていただくために、毎年11月に開催される久米南町保健福祉大会において、啓発用のチラシと一緒にエコバッグを配布し、マイバッグ運動へのご協力をお願いします。大会には、老若男女、様々な方が参加されており、小さなお子さんにも、「これを持って、お買い物に行つてね!」と声をかけながら配布しています。

さて、国は、プラスチック製品・容器包装類が不必要に使い捨てされることのないよう、消費者のライフスタイルの変革を促すこととしています。当委員会でも行政と協力しながら、マイバッグ運動を通じて、皆さんのライフスタイル変革の一助となるよう、引き続き啓発をしていきたいと考えています。



岡山市
支部

「第18回おかやまりサイクル 工作コンクール」について

岡山市環境衛生連合協議会

当協議会では、小学生の夏休みの宿題を利用して、「おかやまりサイクル工作コンクール」を毎年開催しております。

これは、身の回りの不用品を利用した工作を通じて、子供たちの「ものを大切にする心」と「新たにものを創り出す心」を培い、環境を大切にする意識を高めるために実施するもので、今年度で18回目を迎えました。

本年度は、2、4、6年生を対象として作品を募集し、提出された1,828作品の内、優秀作品24作品を選出し、12月3日(火)、4日(水)に岡山市役所1F市民ホールにて展示を行いました。市役所を訪れた多くの市民の方々が児童の作品に見入

り、優秀作品に選ばれた児童が、作品と一緒に記念写真を撮影していました。

また、今年度も「地球環境問題ポスターコンクール作品展」を同時に開催することにより、身近にある環境問題を考えるきっかけになったのではないかと思います。

井笠
支部

環境ポスター

井原市環境衛生協議会

井原市環境衛生協議会など市内の環境推進団体で構成する井原市環境フェア実行委員会では、次世代を担う子どもたちに、ごみの減量やリサイクル、自然環境や地球温暖化などの身近な生活環境問題について、関心を持つとともに、理解を深めてもらうことを目的に、毎年「環境ポスター」を募集しています。本年度は146点の応募がありました。

その中の優秀な作品については、市内3社の一般廃棄物収集運搬委託事業者にご協力いただき、パッカー車にラッピングして、環境啓発活動の広告塔として、1年間ごみ収集にあたっていただいています。

11月に行われた表彰式では、ラッピングされた3台のパッカー車がお披露目され、表彰を受けた子どもたちが、自分の作品が貼られたパッカー車

の前で写真を撮ったり、乗車体験をしたりしました。今後もこれらの活動を通して、環境問題について啓発を図っていきたいと考えています。



(金賞：木之子小学校 4年 塩飽 崇祐さん)

循環と共生

美しいまちづくりのために

備前市環境衛生指導委員会

備前市では、ごみの減量化・リサイクルを推進するため、びんや金属、プラスチック、紙等を9種23項目に分別し、各地区に設置している資源回収ステーションに排出してもらう方式を導入しています。

はじめは、従来の排出方法に比べて分別の手間が増えることや、ごみの分別の理解が得られにくいこともありましたが、導入から8年が経過し、住民にも理解、浸透が進んだことで、徐々に回収される資源ごみの量も増えてきました。この取組により、これまで焼却や埋立てされていたごみが、資源ごとに分別されることで、新たな資源として利用され、自然と共生することに大きく貢献しています。

また、備前市環境衛生指導委員会においては、美しい自然と文化の薫りあふれるまち並みを守り、住みやすく清潔なまちをつかっていくため、町内会（区会）、ボランティアグループ、行政等と協力し、委員自身による積極的な実践活動、住民への衛生思想の啓発等を行っています。

これらの活動を通じて、一人一人が正しい衛生思想、マナーを身につけ、自分たちのまちは自分たちがきれいにしていくものだと考え、行動を起こし、美しく住みやすいまちづくりにつながることを目指しています。



提言箱

犬のふん放置をなくして、きれいで快適なまちへ

倉敷市環境衛生協議会

倉敷市環境衛生協議会では、健康で明るい生活環境をつくるため地域におけるさまざまな環境衛生事業に取り組んでいます。幅広い環境問題に対応するため4つの専門部会を設置して活動を行っています。そのひとつ環境美化部会では、各地域の花づくり等の美化活動に加え、飼い犬ふん害対策に積極的に取り組んでいます。

倉敷市が実施している、犬のふんを持ち帰るよう書かれたイエローカードを設置・監視することで飼い主自身に持ち帰りを促す、飼い犬ふん害対策「イエローカード作戦」への参加では、多くの関係団体が取り組み成果を挙げています。また、平成29年度からは倉敷市保健所の協力のもと狂犬病予防注射会場でも啓発チラシ、ポケットティッシュの配布を行っています。自宅前や散歩道に犬のふんを放置されて迷惑している人がいます。犬のふん放置がなくなり、きれいで快適なまちが実現できるよう今後も活動を継続していきます。



環境豆知識

ごみの出し方について

広報委員会副委員長 福井 孝子

昭和から平成、平成から令和と元号が改められました。昭和32年に結成された当協会も60年以上活動を継続しており、昨年の3月には60周年特別号として「環境のひろば」第214号を発行しました。この60年間の活動の歴史が、今後も実践に活かされるものと信じています。

今回、「環境のひろば」第216号となりますが、以前から「環境のひろば」でも取り上げているごみの不法投棄が、昔に比べれば少なくなってきてはいるものの、未だに無くならないことは残念です。不法投棄といえば山奥や人目につかない場所を想像する方も多いと思いますが、ごみステーションなどに不法投棄されているケースもあります。

ごみの出し方には各自治体のルールがあり、分別方法や場所、日時が決められています。ごみステーションでも回収される品目が日によって決まっていますが、回収されない日にごみが出されていたり、粗大ごみ処理券が貼られていないものも見かけます。

ある自治体ではごみ袋に名前を書いて出す取組を行っているテレビで放送していたのを見たことがあります。ごみ袋に名前を書くことで、自分のごみの出し方に責任を持ってもらうという効果があります。

一方、誰がどんなごみを出しているか見られることに抵抗を感じる方も多いと思います。名前を書かなくても、きちんとルールに従ってごみを出すように、一人ひとりの心掛けが大切だと思います。今後とも環境衛生問題の解消に向けた活動にご協力をお願いいたします。



ごみ拾いを「見える化」?! ～晴れの国クリーンアップおかやま～

岡山県環境文化部循環型社会推進課

皆さんにとって「ごみ拾い」とはどんなイメージですか？

一人でこつこつと、ひたむきに……。そんなイメージがありませんか？

岡山県は、ウェブページ「晴れの国クリーンアップおかやま」でそのイメージを変えていきます！

ごみを拾って、スマホで撮影、アップロードして、岡山県内のどこで、誰が、どんなごみを拾っているのか「見える化」するウェブページ、それが「晴れの国クリーンアップおかやま」です。自分のごみ拾い活動をみんなに知ってもらい、共有しましょう！

個人での参加はもちろん、企業、団体の方の参加も可能です。皆様のご参加をお待ちしております。



ゴミを拾う



写真を撮る



投稿する

詳しくは
こちら⇒



晴れの国クリーンアップおかやま

検索

協会活動の紹介

各専門委員会の活動報告

環境保全委員会

■ 役員研修会

- 日時 令和元年11月13日(水) 11:30~15:00
- 研修内容 平成30年7月豪雨災害に係る災害廃棄物の処理等について
- 参加者 協会役員 20名

平成30年7月豪雨災害により甚大な被害を受けた倉敷市真備町の復旧・復興状況や、岡山県が倉敷市及び総社市から事務の委託を受け、(公財)岡山県環境保全事業団の水島処分場内の二次仮置場において行っている災害廃棄物の処理状況等の視察を行いました。

二次仮置場では、木や金属、プラスチック、コンクリートなど様々な種類が混ざった状態の大量の災害廃棄物が保管されており、これらを適正に処理するために、大きな選別機や人の手によって、種類ごとに選別されていました。

災害時であっても、家から災害廃棄物を排出する段階からできる限り分別することが、その後の速やかな復旧・復興につながると実感しました。



環境保全委員

委員長 石井悦子 副委員長 守屋章
委員 森安創、久山雅生、更谷暢久、山口利弘、埜俊二

リサイクル推進委員会

■ マイバッグ普及啓発活動

- 日時 令和元年10月~12月
- 場所 県内22カ所(岡山市(4カ所)、倉敷市(4カ所)、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、瀬戸内市、真庭市、美作市、浅口市、早島町、矢掛町、鏡野町、勝央町)

岡山県では、毎月10日を「ノーレジ袋デー」と定めて、買い物の際にレジ袋をもらわない「マイバッグ持参」の取組を行っています。当協会では、今年度も各地域のスーパーやイベント会場でマイバッグの配布と啓発を行いました。

この取組が、循環型社会の形成をはじめとした環境問題を考えるきっかけとなることを願っています。



リサイクル推進委員

委員長 小椋邦子 副委員長 横田徹
委員 柴田雅司、今中慶一、勘藤倫子、野田健一、平川二美子、澤山祥子

環境衛生民間指導者研修会

当協会では、毎年県内3ヶ所で「環境衛生民間指導者研修会」を開催しています。

環境保全や美化活動等に関する講演や各地域での活動事例の発表等を行い、環境衛生に関する専門知識を広めるとともに、参加者同士の情報交換の場となっています。今年度も各地区の環境衛生団体の役員等が多数参加しました。

また、研修会に先立ち、環境衛生改善活動に多大な功績のあった団体や個人に対する岡山県各県民局長表彰の表彰式を行いました。

■ 研修会の主な内容

- ◎ 備前ブロック（開催地：瀬戸内市）
令和元年11月7日（木）
講演：地球一個分のくらし
- ◎ 備中ブロック（開催地：総社市）
令和元年11月15日（金）
講演：外来種が起こす問題とは
出前講座：災害に対する備えについて
- ◎ 美作ブロック（開催地：津山市）
令和元年11月22日（金）
講演：河川流域から考える
海ゴミ問題の状況と解決への課題
事例発表：津山圏域クリーンセンターの運営
状況等について



環境大臣表彰受賞者のご報告

令和元年10月28日（月）～30日（水）に熊本県熊本市で開催された「第63回生活と環境全国大会」の中で、環境大臣表彰（生活環境改善功労者及び生活環境改善模範地区）として、県内の個人及び団体が表彰されました。

■ 生活環境改善功労者（個人）

ねずみ、衛生害虫等の防除及び清掃等生活環境改善行政に対する協力又は地域の環境美化等に顕著な功績があった者に対して授与するもの。

- 中村美佐雄（岡山市西大寺地区環境衛生協議会）
- 守屋 新一（倉敷市環境衛生協議会真備地区協議会）
- 大住 敬造（倉敷市環境衛生協議会船穂地区協議会）

■ 生活環境改善模範地区（団体）

ねずみ、衛生害虫等の防除及び清掃等の地域の環境美化その他生活環境の改善を積極的に推進して顕著な成果を上げている地区に対して授与するもの。

- 栢谷町内会（岡山市）

賛助会員の環境衛生に関する取組・活動紹介 No.2

賛助会員：東洋産業株式会社（岡山市北区・昭和45年度入会）

事業内容：食品施設等における生物害・異物混入対策の支援

東洋産業(株)では、平成16年から、月刊誌「東洋産業だより」を発行、HPに掲載し、防除対象となる害虫の情報はじめ、衛生や食の安全に係る情報をタイムリーに提供しています。

また、専門分野においては、害虫の生態や防除技術に関する研究を日々行っており、その研究成果の一部は日本ペストロジー学会等を通じて発表され、防除技術の普及にも努めています。



※ 今後も賛助会員の紹介記事を掲載予定としています。紹介した取組・活動を参考にいただければ幸いです。

新規賛助会員の募集

当協会の活動は、賛助会員の皆様による支援金により成り立っています。

地域に根ざした活動を引き続き行っていくため、当協会では、ご支援いただける個人・団体を募集しています。地元で行われている清掃活動や不法投棄防止運動、マイバッグ推進運動等へのご支援をお願いします。1口年間1万2千円で、1口から入会できます。

編集後記

国がレジ袋の有料化に踏み切るとの発表があり、日常生活に関わるレジ袋の有料化による環境意識の高揚が期待されます。有料化によるレジ袋使用量の削減効果を期待したいものです。

また、県内では子どもたちに向けた様々な環境啓発活動が行われています。将来を担う子どもたちの心に残る素晴らしい活動に見えました。

今年は東京オリンピック・パラリンピックがあることから、多くの外国人観光客が見込まれます。外国の人たちが日本の環境施策を体感し、どのような評価を行うか興味のあるところですよ。 広報委員 山本 光夫



広報委員

委員長 藤原 勝稔 副委員長 福井 孝子

委員 二宮 万太郎、熊代 勉、山本 光夫、高木 早苗、河野 益充

お問合せ先

岡山県環境衛生協会事務局(岡山県環境文化部循環型社会推進課内)

岡山県岡山市北区内山下2-4-6

TEL.086-226-7307 FAX.086-224-2271

「環境のひろば」は当協会のホームページにも掲載しています。

(<https://www.pref.okayama.jp/page/462962.html>)

わたしたちは環境関連事業を通して
社会の持続的発展に貢献します

- ・廃棄物処理処分事業
- ・環境調査事業
- ・環境活動推進事業
- ・公共施設等管理運営事業



公益財団法人
岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1
TEL 086-298-2122
FAX 086-298-2496

有害な生物防除のプロ集団

カ・ハエ・ゴキブリ
ノミ・ねずみ・ハチ等の防除

一般社団法人

岡山県ペストコントロール協会

〒701-0152 岡山市北区延友454
電話 086-293-5990

“生活排水の処理は浄化槽で”

一般社団法人

岡山県浄化槽団体協議会

会 長 八 田 富 夫
副 会 長 乘 藤 慎 吾
“ “ 大 森 文 太 郎
常 務 理 事 梶 英 正

〒703-8282 岡山市中区平井 1097
電話 086-276-8585
FAX 086-276-9081